

Musée **GUIMET**

フランス国立

ギメ東洋美術館所蔵 浮世絵名品展

THE EXHIBITION OF MASTERPIECES
FROM MUSÉE GUIMET

【開館時間】午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】月曜日（ただし、4月24日から5月6日は無休です）

【主催】大阪市立美術館、フランス国立ギメ東洋美術館、NHK大阪放送局、NHKきんきメディアプラン

【後援】外務省、文化庁、フランス大使館、大阪府、大阪府教育委員会

【協賛】日本写真印刷株式会社 【協力】JAL 日本航空

2007年4月10日(火) — 5月27日(日)

大阪市立美術館 [天王寺公園内]

パリを魅了した江戸の華 —

北斎・写楽・歌麿



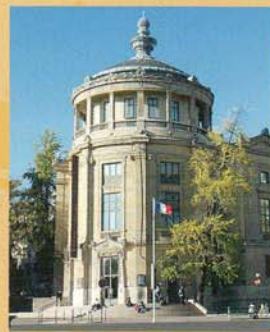
フランス国立

ギメ東洋美術館所蔵浮世絵名品展

THE EXHIBITION OF MASTERPIECES FROM MUSÉE GUIMET

パリの中心部に位置するフランス国立ギメ東洋美術館は、1889年に実業家エミール・ギメ(1836~1918)により設立されました。1945年には、ルーヴル美術館の東洋美術コレクションが移管され、現在、世界屈指の東洋美術の殿堂として知られています。

浮世絵は、19世紀半ばにヨーロッパにもたらされ、ジャポニスム(日本趣味)と呼ばれる流行の中で、モネやゴッホといった印象派の画家たちにも大きな影響を与えました。



フランス国立ギメ東洋美術館外観

ギメ東洋美術館には、その当時の浮世絵が数多く所蔵され、歴史的にも貴重で充実した内容を誇っています。

本展では、北斎、写楽、歌麿、広重など、そのコレクションの中から選りすぐりの名品約190点をご紹介します。これまでまとめて公開されることのなかったギメ東洋美術館の浮世絵が日本に里帰りするまたとない機会です。日本から海を渡りパリの人々の心をつかんだ浮世絵の魅力をぜひともお楽しみください。



東洲斎写楽画

世界初公開! 北斎の「龍虎」 100年ぶりに出会う

ギメ東洋美術館に所蔵される北斎の肉筆画「龍図」が、東京の太田記念美術館所蔵の「虎図」と対幅であることが2005年にわかり、稀に見る大発見として話題になりました。この北斎最晩年の傑作とされる「龍虎」が、ここ大阪の地でも約100年ぶりに再会します。

左:
葛飾北斎「虎図(雨中の虎)」
太田記念美術館蔵[特別出品]
右:
葛飾北斎「龍図」
ギメ東洋美術館蔵



□講演会のご案内

4月14日(土)「ギメ東洋美術館の浮世絵とジャポニスム」講師/秋田達也(当館学芸員)
4月21日(土)「北斎の芸術と新発見『龍虎図』について」講師/永田生慈(太田記念美術館副館長)
●時間:いずれも午後1時30分~3時 ●会場:美術館1階講演会室 ●定員:150名(当日午後1時より整理券を配付します。先着順。) ※聴講は無料ですが、観覧料が必要です。

□当館学芸員による作品解説のご案内

4月28日(土)・5月5日(土)・12日(土)・19日(土)
●時間:いずれも午後1時30分~2時30分 ●会場:美術館1階講演会室 ●定員:150名(当日午後1時より整理券を配付します。先着順。) ※聴講は無料ですが、観覧料が必要です。

①東洲斎写楽「嵐龍蔵の金貨石部金吉」 ②喜多川歌麿「美人気量鏡 兵庫楼 雛琴」
③葛飾北斎「千絵の海 総州鈍子」 ④歌川広重「月に雁」
©Musée Guimet / Jean Paul Pinon(ギメ東洋美術館所蔵写真) / Thierry Ollivier(作品写真)

□観覧料

	当日	前売・団体
一般	1,200	1,000
高大生	900	700

※団体料金は20名以上
※中学生以下・障害者手帳等をお持ちの方は無料

□主な前売券の発売場所

チケットぴあ各店舗/ファミリーマート、サークルK・サンクス(Pコード:687-194)/ローソン(Lコード:59448)/ampm/セブン・イレブンなど

大阪市立美術館 [天王寺公園内]



〒543-0063 大阪市天王寺区茶臼山町1-82

【お問い合わせ】
大阪市立美術館 TEL.06-6771-4874
大阪市コールセンター 気軽になにわコール(年中無休) TEL.06-4860-7285

http://www.city.osaka.jp/museum-art/(大阪市立美術館)
http://ukiyoe.exh.jp(公式サイト)
http://ukiyoe.exh.jp/k/(公式携帯サイト)



【交通案内】JR・地下鉄天王寺駅、近鉄あべの橋駅下車、北西へ400m。天王寺公園・公園ゲートよりお入りください。